

都市建設常任委員会会議記録

日 時 平成30年9月13日(木曜日)

午前10時 3分 開議

場 所 水戸市議会 第1委員会室

午前11時 1分 散会

付託事件

(1) 議案第84号中別表中歳出中第8款

1 本日の会議に付した事件

(1) 議案審査

① 議案第84号 平成30年度水戸市一般会計補正予算(第3号)中別表中歳出中第8款(土木費)

2 出席委員(7名)

委員長	黒木 勇 君	副委員長	大津 亮一 君
委員	中庭 次男 君	委員	飯田 正美 君
委員	村田 進洋 君	委員	高橋 丈夫 君
委員	松本 勝久 君		

3 欠席委員(なし)

4 委員外議員出席者(1名)

議員 小川 勝夫 君

5 説明のため出席した者の職、氏名

副市長	秋葉 宗志 君		
建設部長	猿田 佳三 君	建設部技監	渡邊 雅之 君
建設部技監兼 建築課長	小林 幸夫 君	建設計画課長	大森 幹司 君
道路管理課長	有金 正義 君	道路建設課長	安達 茂 君
生活道路整備 課長	川又 弘一 君	河川都市排水 課長	三村 隆 君
土木補修事務 所長	大山 裕己 君	内原建設事務 所長	谷 萩幸治 君
都市計画部長	高橋 涼 君	都市計画部 副部長	川崎 洋幸 君
都市計画部技監兼 市街地整備課長	坪 貴之 君	都市計画部技監兼 住宅政策課長	木村 勤 君
都市計画部技監兼 泉町周辺地区 開発事務所長	加藤 久人 君	都市計画課長	黒澤 純一郎 君
建築指導課長	井原 孝志 君	公園緑地課長	上田 航 君

下水道部長 白 田 敏 範 君 下水道部副部長 弓 野 憲 一 君

下水道管理課長 鬼 澤 英 一 君 下水道整備課長 松 葉 光 隆 君

下水道施設
管理事務所長 渡 邊 裕 寿 君

6 事務局職員出席者

議事係長 綱 島 卓 也 君 書記 武 田 侑 未 子 君

午前10時 3分 開議

○黒木委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから都市建設委員会を開会いたします。

それでは、これより議事に入ります。

さきの本会議において、当委員会に付託されました案件は、議場で配付されました議案審査分担表(1)のとおり、議案第84号であります。

それでは、審査の進め方についてお諮りします。

委員会の審査日程が2日間となっておりますので、本日は執行部に提出議案の説明を求め、その後質疑を行います。明日、御意見を伺った後、採決を行いたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○黒木委員長 御異議なしと認め、そのように進めさせていただきます。

それでは、これより執行部から提出議案の説明を願います。

議案第84号 平成30年度水戸市一般会計補正予算(第3号)中別表中歳出中第8款(土木費)について、執行部から説明願います。

大森建設計画課長。

○大森建設計画課長 おはようございます。

それでは、議案第84号 平成30年度水戸市一般会計補正予算(第3号)中別表中歳出中第8款(土木費)のうち、建設計画課所管分につきまして、御説明いたします。

平成30年第3回水戸市議会定例会議案書①の48ページ目をお開き願います。

第8款土木費、2項道路橋りょう費につきましては、今年度中に市内全ての橋梁点検を完了させるために必要な経費に関するものでございます。

議案書②の平成30年度補正予算に関する説明書の6ページにもお示ししてありますとおり、2,620万円の増額補正を行うものでございます。

説明は以上でございます。

よろしく願いいたします。

○黒木委員長 以上で、提出議案についての説明は終了いたしました。

それでは、これより質疑を行います。

議案第84号 平成30年度水戸市一般会計補正予算(第3号)中別表中歳出中第8款(土木費)について、質疑のある方は発言を願います。

松本委員。

○松本委員 今回のこの道路橋りょう費、2,600万何がしのお金なんですけれども、この金額の基本的査定というのか、この金額を上げた基本的仕様書というのか、これを上げるためのこれまでの経緯などを、何本の橋をやるのかということとあわせて、まずお伺いいたします。

○黒木委員長 有金道路管理課長。

○有金道路管理課長 ただいまの松本委員の御質問にお答えいたします。

点検橋梁数が全体で577橋ございまして、今回点検するのが32橋でございます。

○黒木委員長 松本委員。

○松本委員 32件の橋りょう費ということの点検ということですね、これは。その32件の箇所づきみたいなものというのは、事前には出ていないよね。この予算を上げてくるための説明というのは、以前ありましたか。私の記憶ではないんだけど、委員長、あったっけ、これ。

○黒木委員長 それはないですね。

○松本委員 だから、どこをやるんだか、何をどういうことをやるんだか、その五百七十何件ある中の32件でしょう。それを計上するに当たっての仕様書みたいなものが、本来なら議会のほうに示されて、箇所づきなども示されて、そして丁寧な議案にしていくなのが、私は筋だろうと思っているんですけども、これ、全然、今まで聞いたこともない、今初めての話なので、有金課長には申しわけないんだけど、その辺のところを、資料が今出せるんなら出してほしいし、出せなけりゃ、口頭でもいいから、32カ所、どこにあるんだか私も橋がわからないし、ここをただ地震に耐えられるかどうかということの数字なんだね、委託なんだね。

委託するのには、結局、これから議会で議案が通ったら、これから指名競争入札をするかと思ってやるということですか。

だから、その2,620万円を計上するに当たっての、これはどういう根拠のもとでこの金額が上がったのか、こういう金額になっているのかというふうなことが、私はちょっと疑問に思っているので、御答弁のほど、お願いします。

○黒木委員長 有金道路管理課長。

○有金道路管理課長 ただいまの松本委員の御質問にお答えいたします。

橋梁数32橋でございますが、20メートル以下の橋梁が6橋、20メートルから30メートルの橋梁が10橋、30メートルから50メートル以下の橋梁が5橋、50メートルから80メートル以下の橋梁が6橋、80メートルから100メートル以下の橋梁が1橋、100メートルから110メートル以下の橋梁が1橋、130メートルから140メートル以下の橋梁が1橋、200メートルを超える橋梁が2橋、合わせて32橋となっております。

○黒木委員長 松本委員。

○松本委員 何遍も同じことになっちゃって申しわけないんだけど、これ1件しかないから、議案も。少し踏み込ませていただきたいんだけど、今、口頭で何メートルが何橋と言われたって、どこにそういう橋があるんだかもわからない、私らは。だから、一覧表でも出して、今日の資料として用意していただければ、今配ってほしいんだけど、用意してはないの。そういうことを想定して用意してあんだっぺよ。

どこに何があるんだか、何橋なんだかわかんないべよ。

俺のほうには、昔は御成橋という橋があったんだけど、殿様が通った御成橋がありました。ちゃんと欄干でこうなって、子どものころから殿様が通った橋。これは御成橋というの。それから県道だの6号だの、全部に変わった橋があるんだよ。それが、今なくなっちゃって平板になっちゃったんだけど、まあ、そ

それは余談だよ。

それで、いいの。どうするんだよ。

○黒木委員長 それでは、暫時休憩させていただいて、執行部に資料の配付準備をさせますので。

それでは、暫時休憩いたします。

午前10時13分 休憩

午前10時26分 再開

○黒木委員長 それでは、委員会を再開させていただきます。

それでは、執行部より説明いたさせます。

有金道路管理課長。

○有金道路管理課長 ただいま資料を配付させていただきました。

ちょっと見づらいいんですけれども、A3の平成30年度橋梁定期点検の位置図。また、あとA4の平成30年度の橋梁定期点検予定箇所、これは橋長ごとに分かれている表になっております。

訂正が1箇所ございます。A3の橋梁定期点検の位置図の右端なんですけれども、9番と書いておりますが、これは29番の東前橋でございます。

よろしく願いいたします。

○黒木委員長 すみません、有金課長、ちょっとよく理解できないんですけれども、もう一度説明してもらっていいですか。

○有金道路管理課長 A3の平成30年度橋梁定期点検位置図の右側に9番と書いてある数字が振ってあるところがございますが、ここを29番に訂正していただければと思います。

申しわけありません。

○黒木委員長 松本委員。

○松本委員 やっとわかりました。

32カ所については、何町にあるんだかよくはわからないけれども、とりあえず、こういうことの資料というのは最初に出していただければありがたいなというふうに思っています。

そして、その2,620万円という金額を今回補正した。当初予算とは若干違って、上がっていますよね。当初予算は2,200万円ぐらいかな。2,620万円がこの委託費になっているわけでしょう。その2,620万円を計上した根拠というのは、これは誰が査定して予算を上げたんですか。補正をしたんですか。

皆さん方の中でそれだけの技術者というのは、今の水戸市の中に、私はいないと思っている。それだけの技術を持った技術者というのは、建設部でも都市計画部でも、下水道部でもこれは同じなんだけれども、やっぱり専門的な、そういう技術者、こういうものを見積もれる、積算できるという方っていないと思っているの、私は。だから、技術者をもう少し、大手からでも何でもいから、やっぱり水戸市の職員として雇うべきだろうなんて話もしたことがあるんだけど、その2,620万円を計上した根拠。何を根拠に、この2,620万円で、当初予算よりも400万円か、上がっていますね。何で当初予算2,200万円より

も上がっているのか。だから、当初予算というのは、執行部はプロフェッショナルなんだから、私らは全面的に信じて、賛成してるわけだから。それがこういうふうにくらべて変わってきちゃうということは、私らは議案に対しての不信感というのかな、100%が80%に信頼度が落ちてしまう。こういうふうにもなってしまうというふうなことを感じているんですよ。

ですから当初予算は、2,238万円だな。それがこの値段に今度上がったという、要するにその根拠だよ、根拠。2,620万円に対する、補正をする根拠。何を根拠に、この32カ所の橋の点検をするのか。

私は、最初は、何かさびどめでもやるのかなとか、一部悪いところがあって、どっかの橋でも直すのかとか、そんなふうに思っていたの。だからこうお尋ねしたんだけど、そうしたら、今度はこういうふうな資料になってしまったでしょう。補正だから説明しなくていいという話というのはないと思うんだよ。やっぱり議会の議案だから、議決は必要なんだから、都市建設委員会が駄目だといったらどうするんだよ、これ。そういうことは私はしたくないから、基本的には賛成だけれども。基本的には賛成しますよ、これは。だけれども、この2,620万円に対して算出した根拠、これは何の根拠に基づいてこの32カ所に絞って、こういう金額が出たのか。その辺のところを、少し説明していただければありがたいと思っているんですけども。

○黒木委員長 有金道路管理課長。

○有金道路管理課長 松本委員のただいまの質問にお答えいたします。

まず初めに、この点検が始まった理由ですけれども、平成26年7月に道路法の施行規則の一部を改正する省令及びトンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示が施行されました。これによって、トンネル、また2メートル以上の橋梁点検は、5年に1回の頻度を基本として健全性の確認をすることになりました。

今年度の32橋でございますが、市内橋梁577橋を今まで5年に1回の点検をする中で、今年度全ての橋梁の点検を完了させるために、補正の予算の要求をいたしました。

内容ですけれども、平均的な橋の幅員で点検の積算を行っておりましたが、改めて個別に積算を行ったところ、15メートル以上の橋梁が32橋ございまして、道路幅員が広くて点検に特殊車両が必要になりましたので、当初予算を超過してしまいました。

以上です。

○黒木委員長 松本委員。

○松本委員 そうすると、今年で577カ所が全部点検が終わるということですね。

そうすると、これ、何年前から点検をしていたのかわかんないけれども、点検してきた中で、何年前から、まずやったんだか。まず、それをお答えいただきたい。

一番古い点検をやったのがまだ補修がされてないとか、しなくちゃなんないとか、やったところとか、そういう経過をちょっとお知らせいただきたい。

○黒木委員長 有金課長。

○有金道路管理課長 ただいまの松本委員の御質問にお答えいたします。

点検ですが、平成26年度から4年やっております、今年度で5年目の最後となります。

判定につきましては、点検は、部材ごとに損傷度合いを5段階で診断することになっております。その部

材を区分しまして、橋梁ごとに健全性を4段階で評価することになっております。

今までの点検の結果でございますが、構造物機能に支障がないという判定1でございますが、102橋でございます。次に、構造物の機能に支障は生じないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましいといわれる判定2が397橋ございます。また、構造物の機能に支障が生じる可能性があるとする判定3が44橋ございました。構造物の機能に支障が生じているという判定4の橋梁はございませんでした。

○黒木委員長 松本委員。

○松本委員 そうしたら、今、有金課長の説明の中で、要するに4段階に分けて点検してきた中で、平成26年度から4年目ね、ま、今年度で最後ということなただけけれども、そうすると、その4段階に分けた中で、補修が必要だという部分が、今幾つか述べられたようだけれども。まあ承知のように、この地方は今、震度7程度の震災確率が82%に上がっているんですよ。最初の70%から82%に上がっているんですよ。だから、急いで全部、私はやってほしいとは思っていますよ。だけれども、これまでの経過の中で工事が必要とされるものも、まだやってないわけでしょう。工事に当たっていないでしょう。

それは予算の関係とか、何かあるんだけれども、国から補助金を、これはもらっていますよね。もらいますね、今回。国にもこういう仕様書とか、何橋でどれを、こういうことを点検をするんだということの補助金が国からも1,400万円出ますよね。

だから、今までもその方法でやってきたんだよね。点検は多分やっていたと思うんだよね。水戸市独自で金を出して点検をやってきたわけじゃないでしょう。だから、その過去4年間の中で、早く直さなくちゃならなかった橋の中で、もう補修が終わった橋というのは幾つぐらいあるんですか。

○黒木委員長 有金課長。

○有金道路管理課長 松本委員のただいまの御質問にお答えいたします。

点検をして橋梁の修繕にかかった橋梁は5橋ございます。橋梁名を申し上げます。桜山新橋、石垣橋、桜川団地橋、工兵橋、駅南中橋の5橋でございます。

○黒木委員長 松本委員。

○松本委員 もうそろそろ締めたいと思います。申しわけない。

5橋はもう終わっていると。これはもう震度7の地震が来ても大丈夫だという程度に、もう直っているだろうというふうに、私は前向きで捉えております。

そうすると、そのやらなくちゃならない可能性のあるものとか、何かありますね。これは、じゃ、いつまでに、今度はそういう市民の交通安全、生命にもかかわる問題にもなるわけですから。あるところでは橋が落ちこちてバスが半分乗っかっていたようなところもあったでしょう、どっかでね。ああいうことのないようにするためには、何年がかりで、今回のものも含めると調査は全部終わるんだけれども、今回がどのような結果になるかわかんないけれども、いつのころまでにやらなくちゃならないのかなというクエスチョンマークのある橋、例えば。わかりやすく言えば何とか何とかと言ったけれども。

そういうのは、いつのころまでに完成をさせていくのかということと、その根拠というのは言ったんだっけか。2,620万円の根拠というのは。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○松本委員 言ったのね、そうけ。

俺、耳が遠いし、よくわからないのであれなんだけれども、国が認めたんだから、きちんとした精査はしたんだろうというふうには思っています。

そうすると、これは、今度はその話を進めちゃうけれども、前の話と、あわせて質問しているんだからね。

忘れちゃった、何言うんだか。今、思い出したら、またしゃべるかもしれないけれども、とりあえず何年後ぐらいまでに、こういう577カ所のうち、今回は32件なんだけれども、全部点検は終わっていると。それじゃ完璧にやらなくて、もういいという橋の答えというのはあったんだっけ。もう、これは何にも手つけずでいいんだという、完璧だという、点検上。そういう橋というのは何本かあったんだっけ。そうすると、それ以外の橋というのは、何らかの手だてが必要だという橋になってくると思うんですよ。

だから私は、さっきも言ったように、鉄骨の橋なんていうのは一番弱いのは水なんだから、地下の中に潜っている鉄ならば酸素に触れねえから、年間1ミリメートルと腐らないんだけれども、野ざらしの橋というのは必ず腐るんですよ。だから、そういうことの点検をやってきたんだと思うんだけれども、俺は、だからさびどめでもやるのかなと思っていたんだよ。だから、同じ話になっちゃうんだけれども、577カ所のうち何本はもうやらなくていいと、何年は大丈夫だという橋と、この次にやらなくちゃならない橋が何本あるというようなことを、いつのころまでに、これはやろうとしているのか、まずお伺いいたします。

○黒木委員長 有金課長。

○有金道路管理課長 ただいまの松本委員の御質問にお答えいたします。

修繕につきましては、今年度、市内2メートル以上の橋梁577橋全ての点検が終了いたしますので、来年、平成31年度に、現在、平成25年に策定いたしました長寿命化修繕計画がございますので、それを見直して、計画的にライフサイクルコストを算定してまいりたいと思います。

○黒木委員長 ほか、よろしいですか。

松本委員。

○松本委員 大体わかりました。

そういうことで、この案件について、私は、皆さんの努力を期待して、一日でも早く、国からも部長さんが来ていますから、一生懸命、国のほうからも予算をもっともらっていただいて、本来ならばこっち側の部が担当だったんだから、それがいつの間にか、向こう側に行っちゃったような気がするの。

橋梁なんていうものは、都市計画部、こっちだったんだべよ本当は。違ったっけか。なんか、いつの間にか建設部のほうに移っちゃったんで、その辺の私の考え違いとか思い違いなんかもあったので、都市計画部長さんにもいろいろと御協力をいただいて、国のほうからも予算をいっぱいもらって、それで、一日でも早く、こういうものの安全性を、市民の安全のためにやっていただきたいと、このように思います。

水戸市は、橋もそうだけれども、物をつくるのは上手なんだよね。ただし、後の管理が下手だということ。非常に下手。だから、水戸のまちを歩いてごらん。一番みずばらしいのは水戸市の施設だよ、みんな。つくるのは上手だよ、確かに。後の管理が行き届いてない。だから、橋の下なんかよく見えないでしょうよ。腐っているんだかさびているんだか、通って歩いている分にはわかんめよ、潜ってみないよ。

だから、私はかなりさびて、腐って倒れかかっている橋もあると思うよ。申しわけないけれども。だから、

つくるのは上手なんだけれども、管理が下手だということ。そういう意味でさびどめか何かでもやるのかなと思ったんだけど、こんな話になっちゃったので、私は別に、反対ぶっているわけじゃありませんから、誤解のないように。前向きで応援をする気持ちでもって質問をさせていただきましたので、よろしくお願い申し上げます。私の質問は終わりにします。

○黒木委員長 ほかにございませんか。

中庭委員。

○中庭委員 1つの質問は、先ほどの松本委員の答弁の中で、早期に改修が必要だというのが44橋とありましたね。44カ所の橋が早期に必要だということなんですけれども、それで、5カ所は既に改修したということなんですけれども、39カ所というのは、主にどういうところなんですか。それが一つ知りたいということなんです。

それから、松本委員の質問の関係で、2,620万円の予算がふえたということなんですよね。それで、ふえた理由は特殊車両が必要だからふえたというんだけど、何で特殊車両が必要になったのかと。

その辺をまずお答えいただきたいと思います。

○黒木委員長 有金課長。

○有金道路管理課長 ただいまの中庭委員の御質問にお答えいたします。

判定4の緊急に措置を講じる橋梁はございませんので、判定3の早期に措置を講ずることが望ましいという橋梁が44カ所ということでございます。

○中庭委員 44カ所も出たわけでしょう。だから、大体1割近いですよ。要するに、577カ所のうち、32カ所引くと545カ所ですよ。545カ所のうち、1割近くが早期に整備が必要だということですから、どういう場所なのかという。

私も、この近くの橋を見てきたんですよ、市役所の近くの橋を。そうしたら、これが美都里橋ですね、これ、美都里橋の橋桁を見たんですよ、下から。そうしましたら、かなり塗装が剥げていた上に、本当に古い橋でした、これは。これなんかはこの44カ所の中に入っていたのかということと、それから駅南小橋も見ってきました。これが駅南小橋の写真なんですけれども、こういうところもありました。かなりこれも古い橋で、昭和45年12月竣工と書いてあって、48年前ですね、この橋は。だから、もう50年近い橋が市内の至るところにあるというのを感じました。

駅南小橋ですけれども、これ、合同庁舎の前の橋ですよ、駅南小橋というのは。ここも欄干がかなり剥げていたということで、こういう橋が、やっぱり幾つもあったということは、本当に早期にやっぱり予算を取ってやらなければならないと思いました。

それから、あと私、赤塚の近くの弁天橋って見てきたんですよ。これ、沢渡川にかかる橋ですけれども、これもかなり老朽化していると。

〔「このあたり、石川町の俺んところじゃないの」と呼ぶ者あり〕

○中庭委員 そうそう、ここがかなり……

〔「それは俺が県に要望しているんだよ。県に要望してるけれども、なかなかできないの。本当、やっているんだよ、俺が。だから、そうい

うことはやめてくれる」と呼ぶ者あり]

○中庭委員 これ、水戸市道ですよ、これは。

ですから、こういう橋が幾つもあるわけだから、私はきちんとした、やっぱり今後予算を取ってやるべきだと思うんですけども、その4カ所については、いつまでにこれは終わらせる予定なんですか。

[発言する者あり]

○黒木委員長 有金課長。

○有金道路管理課長 ただいまの中庭委員の御質問にお答えいたします。

先ほどお答えしたとおり、市内の2メートル以上の橋梁は今年度で点検が完了いたしますので、来年度に長寿命化修繕計画を見直して、計画的に修繕をまいります。

○中庭委員 今、弁天橋は県の事業なのですか。私、ちょっと聞きたいんですけども、県の事業なの、水戸市の事業なの、どっちなの。

[発言する者あり]

○中庭委員 いや、これは、だって、この道路って市道だよ。市道だから、当然水戸市でやるんじゃないの、これは。

○黒木委員長 大森課長。

○大森建設計画課長 今お話いただきました弁天橋につきましては、下の河川が県管理になっていまして、そちらの改修計画ともあわせていかなきゃならないものですから、ちょっと今すぐということではないので、申しわけないですけども。

○中庭委員 それと、あと、これから3カ所の点検をやりますよね。さっき答弁では平成25年のときに、橋梁の長寿命化修繕計画というのが出ましたよね。そのときと比べて、そのときの点検と今回の点検はどんなふう変わったんですか。これは、先ほどの平成26年の国の指針というのが出ましたよね。これ、どういうふう変わったんですか。ちょっと教えていただきたい。どういう点検項目がふえたのか。

○黒木委員長 有金課長。

○有金道路管理課長 ただいまの中庭委員の御質問にお答えいたします。

長寿命化修繕計画を平成25年度に策定したときには、平成19年5月に国土交通省国土技術政策総合研究所から出されております道路橋に関する基礎データ収集要領に基づいて点検をしておりますので、近接目視ではなくて遠方目視で、12項目の点検項目で行っております。

○中庭委員 今回はどうなるの。だから、今回は3カ所ではどのような点検に変わったのかと。

○有金道路管理課長 今回の定期点検では、平成26年6月に国土交通省道路局から出されております道路橋定期点検要領に基づいて行っておりまして、近接目視を行うことを基本となっております。

○中庭委員 だから、今回は、3カ所については近接目視で行うということになったと。そのために何か特殊車両が必要だという話でしたけれども、そのことで先ほどの2,620万円がふえたということですか、そうすると。そのことによって、どういうことでこの2,620万円がふえたのかという理由ですよ。

○黒木委員長 有金課長。

○有金道路管理課長 ただいまの中庭委員の御質問にお答えいたします。

今年度行う32橋が近接目視ではございませんで、577橋全て近接目視で行うこととなっております。

2,620万円の内容ですけれども、今回行う点検につきましては、道路幅員が広いために、特殊な点検車両が必要となって予算を超過したということです。

○黒木委員長 中庭委員。

○中庭委員 先ほどの答弁の中で、水戸市が平成25年につくった橋梁長寿命化修繕計画の中で、当時は、これ、私もインターネットで公表されていることなので、見たんですけれども、今回は44カ所が早期に必要なだというんですけれども、しかし、この当時の資料から見れば20カ所程度しかない。そうすると、倍以上ふえたんですね、今度。ということになるんですか。

○黒木委員長 いや、32カ所、今回の補正は。

○中庭委員 だから、当時の計画では20カ所程度だったんですよ。平成25年度の修繕計画というのは。

だけれども、これが今回、点検項目がふえたということで修繕箇所もふえたわけですよ、当然。それが44カ所にふえたと。さらに32カ所やるから、もっとふえるということですか、そうすると今回は。

だって、平成25年度のときは何カ所だったんですか、この当時の長寿命化修繕計画では。水戸市の橋梁を修繕する計画ってありましたよね、計画の箇所もありましたよ。これ、何カ所あったんですか、当時は。

○黒木委員長 中庭委員、先ほど松本委員さんの説明のときにもありましたけれども、今までやっていた点検の対象になっていなかった橋が、今回32橋あって、これが対象になったので国庫補助がついて補正予算になったと。

だから、今回の補正予算の32カ所は今までやっていないということ。それを松本委員のときに説明……

○中庭委員 いや、委員長、それは誤解ですよ。

32カ所の中には、この中に入っているものもあるんですよ。だから、入っているんですよ、これ。今回の中にも入っていますよね。入っていないのですか。

○黒木委員長 答弁求めます。有金課長。

○有金道路管理課長 中庭委員の御質問にお答えいたします。

当時、長寿命化修繕計画を対象としていた橋梁が577橋のうち、生活に不可欠な15メートル以上の橋梁73橋について点検を行って、長寿命化修繕計画を立てております。

○黒木委員長 だから、今言った今回の32橋は入っていなかったんでしょう。32橋。

○有金道路管理課長 その32橋については入っておりません。

○黒木委員長 入っていないんですよ。

[「いや、入っているでしょう、これ」と呼ぶ者あり]

○黒木委員長 いや、入っていないと答弁してるんですよ。

○中庭委員 いや、有金課長さん、下に千波大橋というのがあって、これ。千波大橋、今回も対象になっているでしょうよ。入っているんです、やっぱり。

だから、ふえたんですよ。やっぱり前回よりも修繕箇所がふえた、これはいいことなんですよ。このことによって、やっぱり橋の安全が守られるということで、市民の命も暮らしも守られるということで、いいことなんですよ。別に、私はそれを否定してるわけじゃない。

だから、私が言いたいのは、やっぱり44カ所も出たわけですよ。これからも出るわけですよ。50カ所ぐらいになるかもわからないわけですよ。

だから、そうなれば、やっぱりきちんとした予算を組んで、そして年次計画できちんと早くやるということが必要じゃないかというのを、私は言いたいわけ。

○黒木委員長 先ほどから長寿命化修繕計画をつくって、年次的に財政負担が均等になるようにやっていきますという答弁、松本委員さんのときに答弁していますけれども、ずっとね。

じゃ、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○黒木委員長 ないようですので、議案第84号についての質疑を終わらせていただきます。

以上をもちまして、提出議案についての質疑は終了いたしました。

それでは、本日の委員会はこの程度をもって散会したいと思います。

なお、明日の委員会は午前10時に開会したいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、本日の都市建設委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午前11時 1分 散会